



profile

太郎さん 昭和59年2月生まれ。東京出身。39歳。
桃さん 昭和59年2月生まれ。旧虻田町出身。39歳。
手作りの雪板で遊ぶことがマイブーム。

自然を楽しむ人が

集まれる場をつくりたい

Spotlight

スポットライト



洞爺湖の自然を学ぶミーティングを開催

大須賀 太郎 桃 さん

昨 年11月から1か月をかけて、洞爺湖と周辺の自然について学ぶ「トリーヤミーティング」を開催。環境教育などに取り組むNPOの代表を講師に招いて国立公園の在り方や外来種が生態系に及ぼす影響をテーマとしました。全5回のミーティングには町内外から延べ100人以上が参加。主催した大須賀夫婦は「家庭でも環境の問題について話し合うことができたという声も聞かれました。いろんな人を講師に呼んで知識を身につけたいです」と語ります。

アウトドア好きの2人は結婚後の2019〜20年、世界旅行へ。念願だった米国・カリフォルニア州のシエラネバダ山脈を訪れました。景観の美しさが世界的に有名なヨセミテ国立公園から、米国内土の最高峰ホイットニー山の頂を結ぶ全長340キロのトレイルコースを踏破した3週間の経験が人生の転機になりました。

コースは国の管理の下、さまざまな場所でテントの設営が可能で、自由にありのままの自然を満喫できるようになっていました。桃さんは「人為的な物に頼らない観光の見せ方が印象的でした」と振り返ります。

旅の中でヨセミテと同じく国立公園の支笏洞爺国立公園に興味をわき、桃さんが旧虻田町出身という縁もあって東京から移住。「旅や自然を楽しむ人が集まれる場所をつくらう」と、洞爺湖温泉で20年12月、アウトドアショップ「ZERODAY」（ゼロデイ）を始めました。

気軽に参加できるトレイルイベントなども行い、洞爺湖の魅力を発信している2人。最近はまだまった休暇をとって道外から遊びに来る知人も増えたと言います。東京出身の太郎さんは「地元の人が当たり前すぎて気づかない楽しさも、まだ僕が知らないこととたくさんあります。みんなで遊べる場をつくれたら」と意気込んでいます。

東奔西走

日 中の日差しが少しずつ暖かく感じられるようになってきました。それでもまだ雪が降ったり、寒くなったりする日も続きますが、春の訪れを心待ちにしています。(M.O)

町 中から子どもたちが集まったとうや冬まつり。表紙の撮影のため、大人気の雪の滑り台にカメラを向けると、素敵な写真が何枚も撮れてどれを掲載させてもらうか迷ってしまいました。雪遊びはいつの時代も子どもを夢中にさせますね。(D.Y)

今月のワンショット



雪化粧した浮見堂